

東日本大震災と原発事故からの復興に向けた取り組みや国際交流・協力団体の活動、外国出身県民の声など、福島県の「今」を多言語にてお伝えしています。

※本紙の翻訳版は、当協会 HP からダウンロードできます。



Voices from Fukushima

灰色の中にある多様性から気づくこと

ヤン ヒスク

梁 姫淑さん (韓国ソウル出身・福島市在住)

梁 姫淑さんは福島市内で短期大学と日本語学校の講師、外国から移住した女性のためのボランティア活動をしています。来日のきっかけは留学でした。日本に暮らし、今年で20年。結婚や出産・育児、震災など様々な経験をしてきました。福島のこと、日本と韓国のことなど、梁さんのいまの思いを伺いました。(インタビュー日:2019年10月1日)



-日本に留学したときのことをお聞かせください。

留学前に日本と取引がある韓国の貿易会社に勤めていました。日本のドラマやファッションなどにも関心があり、当時から日本には親近感を持っていました。

大学では在日朝鮮人文学を専攻しました。植民地時代に日本へ移住した知識人たちが何を考えながら生活し、どんな作品を残したかなどを研究しました。

-ご主人のお仕事の関係でアメリカに1年暮らしたそうですね。

アメリカのように様々なルーツを持つ人が暮らしている文化では、他人の出身国を気にしている人がほとんどいません。アメリカの人にとって国の違いはさほど大きな問題ではないようでした。日韓問題も取り上げられることがあまりなく、そのことに私は

驚きました。世界から見たら、日本も韓国も同じ東アジアという1つの地域なのだと思います。

-福島についてどんなことを感じていますか？

県内には、安全に暮らせる地域もあれば、帰還困難区域、避難指示解除準備区域、そして、廃炉に向けて作業中の原発があります。私は、さまざまな思いが交差する複雑な状況で人々が頑張っていることを世界の人に知ってもらいたいです。毎日の普通の暮らしひとつひとつが福島を支えています。世界にも日々の暮らしを同じように頑張っている人がいます。人の暮らしや思いは共通なので、福島のことを知ってもらえたら、そこに共感や理解が生まれると思います。

-さまざまな思いが折り重なっているのが福島ということですね。

白黒で判断がつかない無数の灰色

の存在を知ることが大切です。安全か安全ではないか、正しいか正しくないか等、両極で捉えるのは簡単です。しかし、灰色の存在を分析すると、もう少し違うことが見えてくる場合があります。これは福島の事に限らず、国同士のいざこざ、さらにははじめの問題など、すべてを考える上で必要ではないでしょうか。

-多様性を受け入れることにもつながりますか。

外国人も日本人も同じ場所に暮らす人として楽しく平和に生きていくにはどうしたらよいかをいつも考えています。

違う文化を持つ相手と、互いに違ってたままで一緒にいることは可能です。誰もが相手との間に境界線を設けず、なおかつ合わせすぎることなく、違いを楽しめるような平和な社会であることを願っています。

アフリカ太鼓で市民を結ぶ（福島市）

「食と音楽で世界を結ぶワールドチャリティーマルシェ」が国際協力団体カニマンボの主催で9月8日（日）福島駅前西口広場にて行われました。アフリカの雑貨や家庭料理のブースが並ぶ中、音楽ステージではモザンビークのミュージシャン・ナジャさんやアフリカの民俗太鼓ジャンベの演奏などが行われました。参加者は「アフリカの雰囲気を感じることができました。ナジャさんの歌にとっても癒されました」と語り、音楽と料理を堪能していました。



国際交流員レポート！

オリンピックに向けて救急訓練（二本松市）

9月11日（水）外国人観光客に対応する救急訓練がスカイピアあだたらで行われ、当協会の国際交流員ウインズ・祐希が参加しました。

「二本松市に救急訓練を見学させていただきました。この訓練では、救急隊員は多言語音声翻訳アプリ『ボイストラ』を使い、負傷者役の外国人に対応をしました。私は緊急時のコミュニケーションがスムーズにいくか関心を持って見学しました。来年の夏、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されるため、世界各国からの観光客が日本に訪れます。このような訓練が行われていることは、多くの外国人観光客の安心につながると思いました。」



運動会で国際交流！（田村市）

10月6日（日）に田村市の主催で田村市国際交流運動会が開催されました。この日は、外国人と日本人合わせて約200人が参加。大玉ころがしや鯉のぼりをバトンにしたリレー、玉入れなどの競技が行われました。参加者は「このような運動会は初めてです。とても楽しいです」と話していました。会場はさまざまな世代と国籍の市民が集まり、大いに盛り上がりました。



多言語による復興情報「ふくしま復興ステーション」

福島県の復興状況の最新データや食の安全・安心に向けた取り組み、福島を応援する方々の活動など10言語で発信しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/>

ベトナム語を新設しました

- 外国人のための相談窓口 -

英語・中国語・日本語

毎週火曜日～土曜日 9:00～17:15

韓国語・タガログ語・ポルトガル語・ベトナム語

木曜日 10:00～14:00

※第4・5木曜日は事前予約が必要

☎024-524-1316 ✉ask@worldvillage.org (相談専用)

情報をお寄せください

みなさまからのご意見や感想をお待ちしております。取り上げてもらいたい情報、Voices from Fukushimaにご登場いただける県在住外国人の情報もお気軽にお寄せください。

発行者

（公財）福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町 2-1 福島県庁舟場町分館 2 階

☎ 024-524-1315 ☎ 024-521-8308

✉ info@worldvillage.org

🌐 <http://www.worldvillage.org>

Facebook <https://www.facebook.com/fiainfo>

Twitter https://twitter.com/fia_info

